

みずほCustomer Desk Report 2022/05/06 号(As of 2022/05/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	129.24	1.0621	137.13	1.2618	0.7252
SYD-NY High	130.55	1.0642	137.54	1.2630	0.7267
SYD-NY Low	128.76	1.0494	136.84	1.2325	0.7079
NY 5:00 PM	130.19	1.0539	137.19	1.2356	0.7114

NY DOW	32,997.97	▲ 1,063.09	日本2年債	-0.0480	0.20bp
NASDAQ	12,317.69	▲ 647.16	日本10年債	0.2335	1.35bp
S&P	4,146.87	▲ 153.30	米国2年債	2.7096	5.62bp
日経平均	-	-	米国5年債	3.0049	7.96bp
TOPIX	-	-	米国10年債	3.0336	8.85bp
シカゴ日経先物	26,755.00	▲ 700.00	独10年債	1.0455	7.05bp
ロンドンFT	7,503.27	9.82	英10年債	1.9630	▲ 0.10bp
DAX	13,902.52	▲ 68.30	豪10年債	3.3970	▲ 9.30bp
ハンセン指数	20,793.40	▲ 76.12	USDJPY 1M Vol	11.55	0.94%
上海総合	3,067.76	20.70	USDJPY 3M Vol	11.43	0.68%
NY金	1,875.70	6.90	USDJPY 6M Vol	10.95	0.52%
WTI	108.26	0.45	USDJPY 1M 25RR	0.50	Yen Put Over
CRB指数	313.87	▲ 0.40	EURJPY 3M Vol	11.58	0.42%
ドルインデックス	103.75	1.16	EURJPY 6M Vol	11.40	0.45%

東京	パウエルFRB議長による記者会見後の米金利低下を受けて前日NY時間に大きく値を下げたドル円は、朝方小幅に上昇するも129.54近辺で押し戻され、東京時間は129.24レベルでオープン。その後も下落基調が続いたが、午前中128.76近辺を底値に切り返すと、ドルを買い戻す流れが強まり、ドル円は午後にかけて堅調な展開。結局、129.39レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は129.39レベルでオープン後、ドルを買い戻す動きが優勢となり130.00まで上昇し、129.99レベルでニューヨークへ渡った。ロンドンでは英景気見通し不安から下落した。1.2553レベルでオープン。本日正午に英中銀が政策金利を0.25% 引き上げ1.00% とし、成長見通しは下方修正された。エネルギー価格高騰の中、今後の経済成長懸念が強まり1.2381まで急落し安値を探りながら1.2397レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は129.99レベルでオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を上回り、129.73まで下落するが、市場ではFedがインフレが上昇しているのに政策金利の引き上げが遅れているとの見方や、複数の米企業の大規模倒産から米金利が急伸する展開に、ドル買いが強まり、130.55まで上昇する。午後は130.50付近での推移が暫く続き、終盤に掛けては調整から130.00まで反落し、130.19レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.0548レベルでオープン。朝方はレン・ファンランド中銀総裁が7月に利上げすべきとの発言が伝わったがユーロドルの反応は限定的となるが、ドル買いが継続したことから1.0494まで下落する。午後後も安値圏での推移が暫く続いたが、終盤に掛けて米金利がやや落ち着く展開にドルが売られ1.0539レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・逸見

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event		結果	予想
5月5日	03:00	米	FOMC政策金利(上限)	4-May	1.00%	1.00%
	03:00	米	FOMC政策金利(下限)	4-May	0.75%	0.75%
	10:30	豪	貿易収支	3月	A\$9314m	A\$8400m
	15:00	独	製造業受注(前月比)	3月	-4.7%	-1.1%

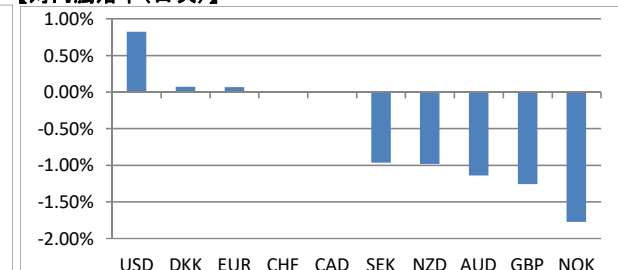
【本日の予定】

Date	Time	独	米	Event	予想	前回
5月6日	15:00	独		鉱工業生産(季調済/前月比)	3月 -1.3%	0.2%
	21:30	米		非農業部門雇用者数変化	4月 380k	431k
	21:30	米		失業率	4月 3.5%	3.6%
	21:30	米		平均時給(前月比)	4月 0.4%	0.4%
	21:30	米		平均時給(前年比)	4月 5.5%	5.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	129.50-131.50	1.0400-1.0700	136.50-138.50

【マーケット・インプレッション】

週前半のドル円相場は、FOMCを前に130.00近辺で方向感を欠く展開。先週末の日銀金融緩和維持を受けたドル円急進後、一服感があつた。4日のFOMCでは、市場織込み通り、50bp利上げと量的引き締めめの6月開始が決定された。パウエルFRB議長は、今後数回の会合で50bp利上げを検討しているものの、75bp利上げについては否定したことで急落し、一時128.62を付ける場面もあった。一方、FRBが他の中銀よりも積極的に金融引き締めを行うとの見方から米国株が急落し、安全資産としてドルが買われたことで値を戻し、130.10円台後半で5日のニューヨーク市場はクローズした。

本日のドル円は、堅調な推移を予想する。本日はFed高官の講演が複数予定されている。パウエルFRB議長の発言を受けて現状は50bp利上げがメインシナリオとなっているものの、Fed高官からタカ派な発言があれば、前日までの流れで他国対比で積極的な金融引き締めが意識され、ドル買いをサポートする要因となる。一方、本日発表の米4月雇用統計にも注目だ。4日発表のADP雇用統計では、労働力不足が重しになり増加幅は2年ぶりの低水準となった。本日の結果が予想を下回れば、ドル円の重しになるため、注意が必要だ。